



2020年10月15日

各 位

会 社 名 株式会社 ハウス オブ ローゼ
代 表 者 名 代表取締役社長 池 田 達 彦
(コード番号 7506 東証第一部)
問 合 せ 先 業務執行役員経営企画室長 小 野 敏 健
TEL: 03-5114-5814(直通)

業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2020年5月14日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」において、未定としておりました2021年3月期の業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

1. 業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想 (B)	11,000	△50	△40	△250	△53.16
増 減 額 (B-A)	—	—	—	—	
増 減 率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	12,683	200	196	31	6.62

【業績予想の理由】

2021年3月期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大が当社業績に与える影響について、合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、最近の業績動向等を踏まえ、現時点で入手可能な情報に基づき業績予想を算定いたしましたのでお知らせいたします。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う政府の緊急事態宣言発出により、ハウス オブ ローゼ、リラクゼーションサロン及びカーブスの各店舗は、期間の長短はあるもののほぼ全店が休業を余儀なくされました。その間、通販売上は伸長したものの4～5月度の全社売上高は前年同期比56%減となりました。緊急事態宣言解除を受け6月に入り全店再開後は徐々に持ち直してまいりましたが、消費行動の変化やコロナ禍での接客サービスの制限等により不安定な状況が続いております。新型コロナウイルス感染症の影響は、徐々に縮小しつつも今期中は続くものと思われ、下期も特に百貨店売上が厳しいと予想されることに鑑み、直営既存店ベースの売上高で通常時期の5～10%程度の減少を想定しております。

なお今回の業績予想につきましては、感染拡大により再度経済活動に著しい影響が生じた場合や大規模な自然災害等が発生した場合は、予想値から実績が大きく乖離する可能性があります。

2. 配当予想（2021年3月期予想）

	年 間 配 当 金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	—	—	—	—
今回発表予想	—	10.00	—	10.00	20.00
当期実績	—				
前期実績 (2020年3月期)	—	20.00	—	15.00	35.00

【配当予想の理由】

当社は、剰余金の配当につきましては、安定的な配当を基本としたうえで、業績の状況及び財務状況等を総合的に勘案し実施することを基本方針としております。

未定としておりました2021年3月期の予想配当金につきましては、今期業績予想及び現在の財務状況等を勘案し、第2四半期末及び期末配当金をそれぞれ1株あたり10円とする予定です。これにより2021年3月期の年間配当金は、1株あたり20円となる見込みです。

(注) 上記の業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想値とは異なる可能性があります。

以上